

## 議事概要記録

開催日時	平成 26 年 5 月 31 日 11 時 30 分～13 時 00 分	開催場所	済生会和歌山病院 7 階会議室
会議種別	平成 26 年度 第 2 回常務会理事会	議 長	
		書 記	田中 規仁
出席者 <敬称略>	玉置 達紀、竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁		
欠席者 <敬称略>		オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>災害に関する研修会について</p> <p>表彰運営規定について</p> <p>総会運営規定について</p> <p>施設認証 1000 施設の達成のための説明会について</p> <p>和歌山県医学検査学会運用規定について</p> <p>輸血検査実施状況確認のためのアンケート実施について</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>災害に関する研修会 について</p> <p>大規模災害における臨床検査の必要性を訴えるフォーラム「大規模災害時における臨床検査について考える」（案）の開催について、会長から説明があった。</p> <p>先の日衛協総会で、臨薬卸連合会の会長が同席しており、和歌山において本企画を開催することについては是非にと快諾を得たとのことであった。</p> <p>日臨技に対して役員派遣要請の行う方向であるとのことであった。日臨技より役員要請が認められれば、後援名称の使用ならびに助成（役員派遣費用）が受けられる可能性がある。</p> <p>内容としては、日臨技役員から経験を踏まえた口演（長沢日臨技理事）から始まり、和歌山県下での取り組みとして、在和卸会社（竹内化学）と行政（県薬務課）間において、本邦初で締結された災害時における診断薬の無償提供協定について、最後に総括として神戸常盤大の坂本教授より口演を頂くとのことであった。</p> <p>また、後日行われる知事との懇談会においても、本企画を和歌山県に打診するとのことであった。</p> <p>また、災害時での診断薬の必要性や重要性を県民にアピールする意味でも、一般公開することとした。</p> <p>後の理事会審議で審議することとなった。</p> <p>表彰運営規定について</p> <p>前回の理事会で承認された学術優秀表彰の特別賞について、学術奨励賞への名称変更については、表彰審査委員会規程（平成 24 年 4 月 1 日制定）に反映されていない。</p> <p>同規程の改定と、各賞の基準に関する内規（運営内規）（仮称）の新規作成（案）の草案が表彰審査委員長より提示があった。</p> <p>先に、表彰審査委員会規程の改定を行い、続いて各賞の基準に関する内規を制定することとした。引き続き、運用内規での名称や表現を逐次改め、次回理事会にかけること</p>		

とした

#### 総会運営規定について

日臨技同様に和臨技も総会の運営を考える時期に来ているのではないかと指摘があった。さらに、総会での各議案承認は、現行の委任状形式ではなく各会員個別による書面評決での意思表示と、総会参加者は挙手による意思表示が必要であること、役員信任には各個人への評決が必要であること、等々の指摘があった。

5月初旬までに総会議案書を作成・配布するには、収支決算報告が間に合わない。収支決算を早く終わらせるには、2月末での事業執行終了も考えなければならない。よって、次年度の総会から行うか否か継続審議とした。また、日臨技総会運営規定をもとに草案を作成することとなった。

#### 施設認証 1000 施設の達成のための説明会について

山本前日臨技執行理事より、和歌山県下で認証施設を増やすための説明会を開催した旨の申し出があったとのことであった。開催について、和学会関連事業の1つ（施設連絡者会議等）に組み込むか、あるいは総合管理班の勉強会で企画するかも含め、継続審議することとなった。

#### 和歌山県医学検査学会運用規定について

和歌山学会の運営規定マニュアル（案）について、学術部長より詳細に踏込んだ説明があった。提出期限等の時間的な表現、個々の名称表現、会計の扱い、学会運営方法、作成文書の書式等について、詳細な修正があった。今後逐次修正後、早急に理事会審議に掛けることとなった。

#### 輸血検査実施状況確認のためのアンケート実施について

第58回 日本輸血・細胞治療学会近畿支部総会にて和医大輸血部の松浪技師がシンポジウム「輸血に関する認定制度の現状と問題点」の一演題を担当することとなった。和臨技サーベイの輸血参加施設を対象にアンケートを実施し、掛かるアンケート用紙を月例行事予定表送付に同封してほしい旨の申し出があった。認めることとした。

#### 日臨技近畿支部医学検査学会の開催県担当順番について

和歌山は第59回日臨技医学検査学会担当があったため3ヶ年繰り下げた経緯がある。奈臨技から元の周りに戻してほしいと、近畿支部長を通じて要請があった。近畿支部幹事会の話し合い次第では元に戻る可能性（戻れば28年度開催担当）があることを、あらかじめ承認を得るよう、理事会にはかりたいとのことであった。

記録作成	平成26年6月10日	氏名	田中 規仁	提出	平成26年6月11日
------	------------	----	-------	----	------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可